

# クイズに挑戦♡ ~あつまれ!ことばの森!!石川塾へ!!!~

“石川塾名物講座”で国語力をつける♡自分では選ばない作品でも、読んでみると面白い作品ばかり♡読み継がれてきた作品から新しいものまで、豊富なラインナップ♡読めば世界が広がるよ♡まだの人は、ぜひこの夏から挑戦しよう!!もっと読みたいのに…時間が足りない君もサービス料金で受講できます。

## 『齋藤孝のイツキによめる!名作選1年生』 齋藤孝/講談社

【掲載作品】●アメリカザリガニ/さくらももこ●いちようの実/宮沢賢治●二人の兄弟/島崎藤村●地球は おおさわぎ/筒井康隆●手ぶくろを買いに/新美南吉●アラビアンナイト・うそつきブハイト/川真田純子●落語・けちくらべ/興津要●グリム童話・いばら姫/阿川佐和子●くもの糸/芥川龍之介



日時 通常授業(15分サービス)で受講できます♡まだの人は申し出て下さい♡♡

9月サービス講座:受講料 コマ数を増やしてじっくり取り組むのもよし♡

(小学生3年以上)1時間500円(ひと月4回4時間2000円)

(小学生2年以下お母さんと一緒に)1時間500円(ひと月4回4時間2000円)

御希望の方は 塾長まで! TEL 042-710-5768

持ち物 10ミリ方眼ノートを使用します。

## 歴史的かなづかひ③ 『私の国語教室』/福田恆存(ふくだ・つねあり)/文春文庫

「金色(こんじき)の ちひさき鳥の かたちして いてふちるなり 夕日の岡(おか)に」 与謝野晶子(よさの・あきこ) 石川塾の朗読暗唱で誰もが始めに習う与謝野晶子の短歌です。「ちひさき」と書いて「ちいさき」と、「いてふ」と書いて「いちよう」と読みます。「てふてふ」なら「ちようちよう」と読みます。どうしてでせうか。なぜそう読めるのでせうか。これから日本語の<歴史的かなづかひ>を皆さんと一緒に辿り遡っていきます。

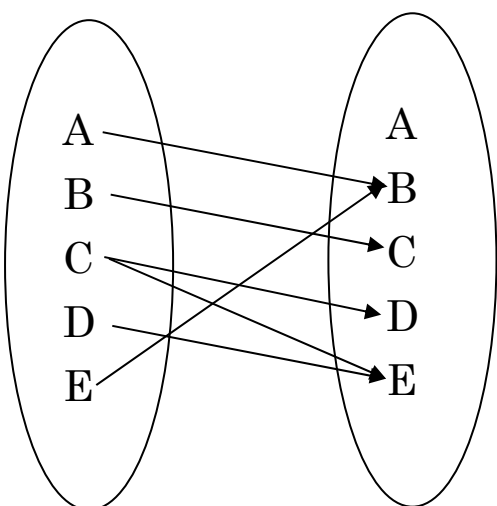
「お例」長音の「例外」がもう一つあります。これまた全然別の「例外」で、(歴史的かなづかひで)「ほ」ではなく「を」の場合です。すなわち「十」は舊「とを」であるから、「現代かなづかい」では「とう」ではなく「とお」と書かなねばならない。「を」はすべて「お」といふ原則があるからです。これも歴史的かなづかひを知らないと納得できぬ一例です。(第一章「現代かなづかい」の不合理)(続く)

▲プチ情報:町田第一中学校2年生一月期の期末試験に清少納言「枕草子」の春夏秋冬全文が出題されました▲

▲石川塾では小3までにほぼ全員が「枕草子」の冒頭の春夏秋冬全文を暗唱し終えます▲誰でも覚えられます▲

## 読解力をつける③ 『AIに負けない子どもを育てる』/新井紀子/東洋経済

「うちの子は文章題が苦手」「読解力がなくて」と嘆くお母さん方が多い。算数・数学は概ね「計算」「図形」「文章題」の3つから成り立っている。どうして文章題が苦手なのだろう。なぜ解らないのだろう。一口に問題文の語彙文章文脈の意味内容が分からないからというが…多岐に渡る。一つに単位がある。「1(いち・ひとつ)」にはいくつかの意味がある。グラフ図表の見方がある。「は・が」「の」「を・に」など助詞の使い方と比べるものがあるなど…。



誰もが、誰かをねたんでいる。誰もが、誰かからねたまれている。

この2つの文は「同義」でしょうか。A、B、C、D、Eの5人の世界で、図にして考えてみましょう。RSTテストでいうところの「イメージ同定」の能力が求められます。「誰が誰かをねたんでいるか」は矢印で表します。たとえば、AさんとEさんはBさんをねたんでいます。Cさんは、DさんとEさんの2人をねたんでいます。またBさんはCさんを、DさんはEさんをねたんでいます。これが、「誰もが、誰かをねたんでいる」状況の例です。では、この例で、「誰もが、誰かからねたまれている」は正しいですか?正しくありませんね。Aさんは誰からもねたまれていないからです。

これで「誰もが、誰かをねたんでいる」と「誰もが、誰かからねたまれている」は同義ではないことがわかりました。このように具体例を挙げて、あることが間違っていることを示す事例を「反例」といいます。同様に、「誰かは、誰もからねたまれている」も同義ではありません。(第2章「読める」とはなんだろう 正しく「読む」ために必要なこと/AI読みでは、AI人材にはなれない)(続く)